

忘れられた被災地 ミャンマーの人々は“今”



各地で集中豪雨や洪水、早魃など異常気象による災害が頻発しています。

地球温暖化が進めば、21世紀は災害の世紀となるとも言われる中、2008年5月2日、巨大サイクロンの直撃を受けたミャンマーは、死者・行方不明者あわせて13万8千人（ミャンマー政府発表）を超える未曾有の被害を被りました。

各国からの救援の申し出は門戸を閉ざされ、ニュースで取り上げられることもなく、今や記憶から忘れ去られようとしています。被災地の人々は今、どのような状況にあるのでしょうか？

被災後、現地に赴き、被災者の支援にあたられたNPO法人JAMBOF（日本ミャンマー友情の架け橋）代表の上村真由さんにミャンマーの現状や被災地支援活動についてご報告いただきます。

日時 2008年8月9日（土）午後1時30分～3時30分

場所 みえ県民交流センター 交流スペース
（三重県津市羽所町700番地 アスト津3階）

内容 ミャンマーサイクロン被災地支援活動報告
上村真由さん（NPO法人JAMBOF代表）
ミャンマーのお茶の試飲
TALK×TALK「被災地支援の実際と国際支援のあり方」

募集 30名程度 定員になり次第、締め切らせていただきますのでご了承ください。

参加費 無料